

令和5年度こども家庭科学研究費補助金  
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)  
分担研究報告書

不妊治療に関する一般向けの情報提供資材の作成と標準的知識啓発システムの構築

研究分担者 岩佐 武 徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学 教授

(研究要旨) 生殖医療に関する説明資材の作成ならびに有用な情報提供のあり方について検討した。その結果、資材を利用する際に要する時間や説明の明確性が特に重要であることが判明した。

A. 研究目的

生殖医療に関連する説明資材の利用状況や利用者からの意見を分析することで、より効果的な資材のあり方や運用方法について検討した。

B. 研究方法

生殖補助医療の技術の一つである、着床前胚染色体異数性検査に関する説明動画の利用状況とそれに対する意見について分析した。また、体外受精を検討しているカップルに対する説明動画の利用状況から、説明資材の有用性や課題点を抽出した。本研究について、特別倫理面に配慮する内容に含まれていない。

(倫理面への配慮)

本検討は患者情報を取り扱うものではないため、倫理的問題点は発生しない。

C. 研究結果

一連の検討によって、これらの資材には一定の有用性が認められること、動画については短時間におさめることが重要である

こと、内容については曖昧性を避ける必要があることが判明した。

D. 考察

生殖医療に関して複数の情報提供資材が存在するが、その内容および質については様々で、中には混乱を招くような情報が含まれている場合もある。また、このような資材について、利用者からのフィードバックを得ているものはごく少数にとどまる。今回の検討結果から、利用者がこれらの資材に求めているものが明確化され、今後の修正に向けて有用な知見を得ることができた。これらの情報を広く周知することで、より質の高い説明資材が提供されることが望まれる。

E. 結論

適切な説明資材にあり方が明らかとなった。また、説明資材について利用者からのフィードバックが重要であることが判明した。

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし